

令和4年5月9日

各都道府県ソフトボール協会
理事長・事務局長 様

公益財団法人日本ソフトボール協会
副会長・支部活性化プロジェクト委員長
竹島 正隆

支部活性化プロジェクト「部活動改革プロジェクト委員」設置のお願い

拝啓 春暖の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素よりソフトボール普及振興に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本協会では推進しております「支部活性化プロジェクト」において、本年2月の定時評議員会で発表された提言を受け、各都道府県協会において『部活動改革プロジェクト委員』の選定をお願いしたく、ご連絡申し上げます。

本委員の設置趣旨、目的、目標、選定に際して求める人材像につきましては、別紙をご参照ください。尚、本プロジェクトは令和5年度より本格実施される「学校部活動改革」への対策に主眼が置かれており、喫緊の課題と位置づけていることから、早急に対策を講じる為、5月末日までに選定頂き、添付の届出用紙とアンケート調査についてご提出賜りたく存じます。

本委員設置に向け、支部活性化プロジェクトで準備している支部活性化補助金もご活用頂けますので、各協会内で事業内容を精査頂き、委員を中心に支部が活性化されるよう、皆様のお力添えを賜りますよう、何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

委員を選定頂きましたら、全体、あるいはブロック別、あるいは個別に説明・相談を承りますので、日本協会支部活性化プロジェクトとの連携を密にして頂けると幸いに存じます。

今後とも当協会諸事業、並びに本プロジェクトへのご支援、ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

【添付資料】

- ・支部活性化プロジェクト「部活動改革プロジェクト委員」設置の趣旨等について（次頁）
- ・「部活動改革プロジェクト委員」届出用紙
- ・部活動改革プロジェクト委員設置についてのアンケート調査

支部活性化プロジェクト「部活動改革プロジェクト委員」設置の趣旨等について

《背景》

ここ 2 年間にわたり実施してきた支部活性化プロジェクトにおいて、数値的にも他競技との比較においても明確に減衰率の高い若年層の競技人口を食い止めるべく、各都道府県において対策を検討する必要性が議論され、先行事例として初期推進メンバーを三重県、岡山県、大分県、第 2 期メンバーを富山県、大阪府、高知県、鹿児島県に設定し、各地域での取り組み事例を研究してきた。

この取り組みにおいて、地域毎に実施できる内容や地域別の様々な背景があることから、各都道府県で現状を把握し、精力的に普及振興（具体的には選手離れを止め、新規選手を獲得）を推進できるキーパーソンを軸に活動する必要性がある、という提言がなされた。

一方で、文部科学省が進めるいわゆる「部活動改革」への対応も喫緊の課題であり、既に一部自治体においては外部指導員等の取組や地域スポーツとの融合についての議論が始まっており、これらは当協会が抱える課題と合致することから、早急に「部活動改革に特化したプロジェクト委員」を各都道府県に配置する必要性が議論された。

《設置の目的》

- ・各都道府県における普及活動のグランドデザインづくり
 - －小・中・高・大を巻き込んだ普及活動のピラミッドモデルを構築
 - －未経験者を引き込むための“ふれあいイベント”や“楽しいスポーツ”的な柔軟な仕掛け
- ・中学校部活動改革への現状把握、及びその対応
 - －『受け皿』づくり
 - （受け皿：地域クラブ＜総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、既存クラブ、新規）
 - －他地域での成功事例の共有（現時点での好例：大分県 ODG 等）
- ・ソフトボール部活動指導者バンクの構築（都道府県指導者委員会と連携）

《目標》

- ・令和 5 年度開始前までに部活動改革の現状把握は完了し、受け皿となる地域クラブ組織にあたりを付ける
- ・若年層の競技人口減少を食い止める普及活動のグランドデザインを構築する「プロジェクトチーム」を各都道府県協会に設置（委員一人でやるものではない）
- ・ソフトボール部活動指導者バンクの構築（候補者のリストアップ）

《委員選定に際し求める人物像》

- ★教育行政(自治体等)、スポーツ行政(スポ協等)、学校現場との連携が取れる人物
- ★都道府県協会内各部署・委員会との連携が取れる人物
- ★日本協会支部活性化プロジェクトとの連携が取れる人物（報告書、ウェブ会議等）